

市民イベント振り返る

豊橋市制110年記念事業



実施したイベントを振り返る参加者たち＝豊橋市八町通の市公会堂で

振り返った。

日系ブラジル人高校生を対象に進路支援の講演会「しゃべりば@とよはし」を開いたNPO法人・フロンティアとよはしの河村八千子理事長(五)は「今後も継続していきたい。豊橋で生きる選択をした外国人に地元を好きになってほしい」と語った。

豊橋市制施行百周年となった二〇一六年度に市民が実施した記

豊橋市八町通の市公会堂であった。



念事業を総括するイベ

ント「Hello N ext」が二十五日、

市は記念事業に最大五十万円の補助金を出しており、豊橋市民から応募があった二百件のうち、百十件を採択。

この日は代表として、五件の関係者が活動

東三河の農産物や加工品を豊橋駅前で売る「百億人まつり」特別版を開いた市民団体「豊橋百億人」の清水貴裕事務局長(四)は「一回きりの『打ち上げ花火』にはしたくない。今年も準備していく」と話した。(阿部竹虎)